

総理のリーダーシップを支える。

内閣府は、内閣・内閣総理大臣主導の国政運営を実現するため、各省より一段高い立場から国政上の重要政策の企画立案・総合調整を行う組織として2001年に設置されました。内閣府のリーダーは、日本のリーダーでもある内閣総理大臣。リーダーを支えるため、内閣府には5つの役割があります。

官邸直結の政策マネジャー・プロジェクトマネジャー



総理のリーダーシップを支える中心的な存在として、官邸や特命担当大臣に直結し、国政上重要な政策の企画立案・総合調整を行う。

組織基盤を支えるエキスパート



内閣府のみならず、官邸・内閣官房を含め、国会業務や総務・会計部門等のエキスパートとして、行政運営の基盤を支える。

国民目線に立った政府のセンタープレーヤー



社会の在り方、国民生活に密接に関わる分野において、国民目線に立つて政府部内を強力に調整し、政策を推進する。

経済財政、科学技術分野等、政策・制度の企画立案に貢献する人文・社会・自然科学的知見を実証に基づき提供する。



政策・制度に立脚し、現場との接点を持つ政策分析専門家



総理直轄分野の政策プロフェッショナル

栄典行政、公式制度、公文書管理など国家の基盤に関わることや、沖縄政策・北方対策など特別の理由に基づき総理が担当することがふさわしい分野におけるプロフェッショナルとして政策を推進する。

「内閣府」。

その3文字からは想像しきれないほどに、内閣府は様々な分野で重要な役割を担っています。

きっと皆さんの生活のどこかに、内閣府とのつながりがあるはずです。

内閣府という組織



Cabinet Office

内閣府の組織体制

今この時に、必要な政策を。

内閣府は、少し複雑で変わった組織の形をしています。それは、まさに今この時に必要な政策を行うため。あるいは、日本の英知を結集させた、総理日々変化し続ける社会課題に対応していくために、内閣府の組織もまた、変わり続けています。

の「知恵の場」となるため。

